

開設分野

文化財学

## AO入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答例

### 問Ⅰ 出題の意図

画絹の裏に直に文字を記すという行為は、まだ表装を施す前の枠貼りの状態でなければ不可能である。それにも拘わらず、本図の墨書銘が開眼供養の記録であることから、画幅としては未完成の状態でありながら仏性を込めて礼拝の対象とした事実が判明する。本図が「延命」像であることを考慮すれば、誰かの延命のために制作していたものの、その誰かの容態が急に悪化したため、無理やり本尊画として完成させてしまったという制作背景が窺われよう。講義で解説した仏画制作の過程を思い起こし、現存遺例に応用して理論的な考察ができるかどうかの能力について見る。

なお、仁平3年という年代、および講義でも述べたように宮中制作とされる松尾寺本と近似する表現様式を併せ考えれば、近衛天皇の病氣平癒という目的が浮かび上がるが、今回の解答ではそこまでは求めない。

### 問Ⅱ 出題の意図

文化財学において必要不可欠な能力の一つに、作品の正確かつ詳細な観察能力、およびその伝達能力がある。本問では、観察にあたって五感をフルに活用できているかどうか、また観察内容を言葉を使って巧みに伝え得ているかどうかなどを見る。

|      |        |
|------|--------|
| 開設分野 | 日本文学語学 |
|------|--------|

|     |  |
|-----|--|
| 科目点 |  |
|-----|--|

## AO入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答

|      |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|

問一

(一) ※品詞ごとに傍線を引き、その右に品詞名を書け。

著作権保護の観点から、公開していません。

(二)

あなたに忘れられ捨てられてしまう自分の身の上を、私は少しも悲しく思いません。それよりも、神の名にかけて私との愛を誓われたあなたが神罰を受けて命を落とされないかと、ひたすら察しておりますよ。

|      |        |
|------|--------|
| 開設分野 | 日本文学語学 |
|------|--------|

A O 入試【総合評価方式】Ⅲ型

総合問題 解答用紙

|      |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|

- 問一
- 1 ( 審議 )
  - 2 ( 異動 )
  - 3 ( 喜色 )
  - 4 ( 臨 )
  - 5 ( 鑑賞 )

問二

- 1 ( 樋口一葉 )
- 2 ( 永井荷風 )
- 3 ( 有島武郎 )

- 4 ( 太宰治 )
- 5 ( 萩原朔太郎 )
- 6 ( 源実朝 )

- 7 ( 井原西鶴 )
- 8 ( 藤原定綱母 )
- 9 ( 鴨長明 )

- 10 ( 阿仏尼 )

|      |        |
|------|--------|
| 開設分野 | 日本文学語学 |
|------|--------|

A〇入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答用紙

|      |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|

問四

※以下の二点を測る。

- ① 記述内容の適切さ(根拠を付して説明をしているか)。  
・(一) 全篇に火をつけた理由 (二) 原作小説の結末以後 に関して、講義で紹介したBとEの各作品ごとの特徴を理解し、講義資料を用いながら論理的に説明できているかどうか。
- ② 記述内容の論理的な構成力、表現力(作文能力)。

問五

※以下の二点を測る。

- ① 記述内容の適切さ(根拠を付して説明をしているか)。  
・講義で説明したアダプテーション理論の特質を適切に理解したうえで、問四などでの具体的な考察をふまえて理論の長所・短所を分析し、それらを統合して自分自身の評価を下し論理的に説明ができているか。
- ② 記述内容の論理的な構成力、表現力(作文能力)。

## A O 入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答例

## 問一

「あの人のことを思う」という表現は、「あの人」がどのような心情でいるのが明示されないため、一方向的な思いしか描くことができない。しかし、「あの人はわたしのことを思っているだろう」という表現は、わたしがあの人のことを思っていることはもちろん、あの人も「わたし」のことを思っているだろう」と想像することによって、互いに思い合う言わば双方向的な心情を描くことができる。

王維の「九月九日憶山東兄弟」の第三句の「遙知」は「遠く離れているけれども、自分にははつきりと分かるのだ」というような意味合いだろうが、これは重陽節でなければ成立しない表現なのではなかろうか。杜甫の「月夜」では作中の主人公は長安で月を見上げ、妻も遠く離れたところで月を見上げているだろうという前提がなければ、作品が成り立たない。妻の姿を非常に具体的に描写することにより、自分の家族への思いと家族の自分への思いが、月を媒介として交錯し、双方向的な表現になっている。高適「除夜作」も除夜という特別な時だからこそ、「あの人はわたしのことを思っているだろう」という想像が許容される。

このように、「あの人はわたしのことを思っているだろう」という表現は、重陽節や除夜などの特別な時、或いは月という特殊な装置が存在する時に用いられる。

## 問二

## (一)

夫れ四海の名有る者、退くを求むるは良に難し。

## (二)

(あなたは)明察によって災難を未然に防ぎ、知恵によって将来のことをよくよくお考えなさい。

## (三)

著作権保護の観点から、公開していません。

開設分野

中国文学語学

## A O 入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答例

問三

(一) 七言絶句

(二) 風・重・封

(三)

作中の「わたし」は洛陽にいて秋を迎えた。洛陽城に秋風が吹き始めたのを見て、同郷で同じく「張」姓の張翰が秋風が吹き始めたのを見て、故郷の食べ物を思い出し、望郷の念を抱いたことを想起したから。

(四)

第二句にも「意万重」と見えるように、故郷の家族たちに伝えたいことがたくさんたくさんあったのに、ゆっくり落ち着いて書いたのではなく、「匆匆」、時間に余裕がなく慌ただしかったので、いざ手紙を託した旅人が出発する段になると、手紙に書き漏らしたことがあるのではないかと気になってしかたがなかったから。

|      |        |
|------|--------|
| 開設分野 | 英米文学語学 |
|------|--------|

## AO入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答例

問1

わびしい真冬、  
霜置く風がうなる。  
大地は鉄のように固く、  
水は石のように動かない。

雪が降っていた、雪の上に雪、  
そのまた上に、  
遠い昔の  
わびしい真冬に。

問2

著作権保護の観点から、公開していません。

|      |        |
|------|--------|
| 開設分野 | 英米文学語学 |
|------|--------|

AO入試【総合評価方式】Ⅲ型 総合問題解答例

著作権保護の観点から、公開していません。

ピーター・ミルワード、『English Poems and Their Meanings—英詩へのいざない』  
音羽書房鶴見書店、1992年、37-38ページ



## 解答例 (出題意図)

2020年度 AO入試【総合評価方式III型】

文学部人文学科 フランス文学語学分野

### 〔 I 〕

AO入試の募集要項で示した作品を読むことをはじめ、本ゼミナールを受講するにあたって行った準備を評価する。

ゼミナールの内容の理解とそれを偏りなくかつ簡潔にまとめる文章能力を判定する。

### 〔 II 〕

テキストに基づいた読解能力と理解した内容を論理的に説明する能力を判定する。

### 〔 III 〕

基本的な英語の知識を使って英文テキストを正確に理解し、適切な日本語で表現できる能力を判定する。

### (訳例)

1662年、フランス貴族の女性であるラファイエット夫人は、フランスで最初の近代的小説と考えられる『モンパンシエ公爵夫人』を匿名で出版した。歴史の知識とルイ14世の宮廷での経験をもとに、ラファイエット夫人は、愛と不貞と嫉妬と裏切りが涙と悲劇に終わる、短く複雑な物語を書いたが、(その物語を)その当時から1世紀さかのぼる、宗教戦争時代に設定していた。

その本はすぐに成功を収めたが、批評家たちは、当時、この名前を出さない作者が、実在が疑わしい風習や歴史的人物たちについての終始繰り広げられる悪口の中で、事実とフィクションとを混同していると攻撃した。『モンパンシエ公爵夫人』は、100年以上たってからスタンダールに、そして200年経つ頃ウジェーヌ・フロマンタンに着想を与えたことで評価された。この小説は、現代のロマンチックな粗製乱造文学やテレビのメロドラマの材料にもなっている。

今年の年末には、ラファイエット夫人の作品は、フランスの文学バカロレア(大学入学資格試験)で、最初の学ばれるべき女性によって書かれた作品となる予定だ。〔中略〕改定された試験が1995年に導入されて以来、20年以上も女性作家がいなかったことは、フランスの教育カリキュラムにおける「男性ホルモンの過剰」であると非難されてきていた。

シラバス委員会は、かなり多くのフランスの有名な女性作家を選ぶことができたかもしれないが、〔中略〕その代わりに、委員会は、自国以外では、フランス文学の学生、フランス映画のファンを除いてその名がほとんど知られていないような女性を選んだ。ところがこの本は、2010年、フランスの映画監督ベルトラン・タヴェルニエによって、娯楽時代劇となった。